

学校教育目標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら考え、正しく判断できる人</li> <li>・心温かく、思いやりのある人</li> <li>・健康でたくましい人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・力をあわせ、実践する人</li> <li>・苦難に耐えてやりぬく人</li> </ul>

学力向上に関わる学校経営方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本の定着を目指し、授業の充実を図り、生徒が安心して学べ、活躍できる学校をつくる。</li> <li>・教師は授業前に教室に行くよう心がけ、生徒の2分前行動を促す。</li> <li>・生徒同士の情報交換や相互啓発によって、思考力やものの見方を広げ、問題解決能力を高める。</li> <li>・9年間を見通したカリキュラムをもとに指導のあり方・連携を進め、小中一貫教育を推進する。</li> </ul>

本校が目指す「確かな学力」
<p>学習指導要領に示されている基礎学力の習得を重視し、次の力を身に付けさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識・理解の定着を図る。</li> <li>・知識及び技能を活用する場面を多くつくる。</li> <li>・知識及び技能を活用する意欲を喚起する。</li> <li>・課題解決に向けた主体的に学習に取り組む態度を身に付けさせる。</li> <li>・確かな学力につながる課題発見能力と解決能力を身に付けさせるために必要な思考力、判断力、表現力等、学び方の改善及び学ぶ意欲の向上を図る。</li> </ul>

教科指導の重点	生活指導の重点	進路指導の重点	特別活動の指導の重点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲を高める指導法の工夫や個に応じた指導を充実させ、指導と評価の一体化を図り、確かな学力を身に付けさせる。</li> <li>・分かる授業、意欲を引き出す授業を実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の生徒理解を深め、信頼関係を基礎に基本的な生活習慣の定着を図る。</li> <li>・社会の一員として自覚を高め、望ましい自己実現を図る能力と節度ある態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育の一環としてとらえ、生徒の発達段階に即した進路指導を行い、将来の職業に対する理解と関心を深めさせ、一人一人の生きる力を育て、自ら進路を選択する能力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別活動の全体を通して人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。</li> <li>・自己の役割を遂行し、課題を解決することにより、学校生活の向上に努めさせる。</li> </ul>

本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・方法	教育課程編成	校内研修・研究	評価活動	家庭や地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学習状況や生活状況の日常の様子を把握し、教員間で情報交換を行う。</li> <li>・放課後学習教室等により、学習の充実を図る。</li> <li>・既習の知識を活用する場を設定し、新たな課題解決に努めさせる。</li> <li>・生徒の興味・関心を高め、一人1台端末を活用し、分かる授業を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語では学力支援講師と連携してTT指導や個別指導等を実施する。</li> <li>・学力格差解消加配教員による個別指導を実施する。</li> <li>・図書館指導員の支援による図書指導の推進を実施する。</li> <li>・朝学習等でAI型教材を用いて、基礎基本のくり返し学習を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程実施に伴い評価基準と授業指導計画の改善および特別支援教育への理解をテーマとして研修を行う。</li> <li>・研究主任をリーダーとしてユニバーサルデザインを取り入れた環境整備や授業展開についての研修を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教科が年度当初に観点別評価方法等を生徒や保護者に説明を行う。</li> <li>・生徒や保護者、学校運営連絡協議会委員等からの授業評価を実施する。また、生徒から学期ごとに年3回の授業評価を実施する。</li> <li>・1学期末に評価項目を通知表とともに配布する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会、学年だより等による学習状況や評価の観点等を周知する。</li> <li>・三者面談を年2回実施し家庭と情報を共有し、生活や学習における課題の改善を図る。</li> <li>・CSとして各種検定を実施する。</li> <li>・CS主催の活動を通して学校での学びを生活に生かす機会を設定する。</li> </ul>